家庭数

給食センター
運営審議会だより

令和４（2022）年 11月 18日

運営審議会会長：山上 真哉
記録担当：三中・一小
印刷担当： 松浦　里絵

令和4(2022)年度　第2回　国立市立学校給食センター運営審議会

議事録及び資料は
市のwebサイトで

日時	令和4年9月22日(木) 午後2時～午後3時20分
場所	国立市立学校第一給食センター2F大会議室
委員	出席17名
事務局	4名(土方給食センター所長、青木主査、宮本主査、久保主査)
議題	（１）事業報告について［資料１-１］［資料１-２］［資料１-３］ （２）学校給食費の収支状況について(8月31日現在)［資料２］ （３）その他

議題（１）事業報告について

▶前回会議以降（６/23～９/22）の主な出来事を報告

［資料１-１］令和４年度事業報告より（抜粋）

7/8　学校給食食材等の放射性物質の測定結果および産地について（お知らせ）配布
第三中学校A組　センター見学および給食提供

7/14　「(仮称）国立市立学校給食センター」食育ビジョン（素案）パブリックコメント募集開始　8/5まで

7/19　一学期給食終了

7/28,30　「(仮称）国立市立学校給食センター」食育ビジョン（素案）市民意見交換会
６名の市民の方が参加

8/1　多摩地区共同調理場連絡協議会合同研修会

8/2　多摩地区共同調理場連絡協議会献立研究部会後援会

8/30　小中学校の一部で給食を開始、翌々日の9月1日から全校で給食を開始

9/1　学校給食食材等の放射性物質の測定結果および産地について（お知らせ）配布

9/14　第六小学校訪問　栄養士講話「給食について」

9/15　給食費監査(令和4年度4月1日～8月31日分)

▶牛乳・給食の放射能測定結果

［資料１-２］［資料１-３］学校給食食材等の放射性物質の測定検査および産地について（7月分）(8,9月分)より

・給食センターによる6・7月の給食・牛乳測定の結果、いずれも不検出（検出限界値未満）

・株式会社同位体研究所による検査にて、生きくらげ（6月21日報告)、乾燥きくらげ（8月20日報告)、まいたけ（8月30日報告）について放射性セシウム137を微量検出したため、使用を中止し、献立を変更。

【委員からの主な質問や意見】

要望１　［資料１-２］［資料１-３］は、給食センターまたは外部検査機関（株式会社同位体研究所）の検査にて検出があった場合に配布されるため、不安に思う保護者もいる。ただし、国立市は国や他組織に比べても厳しい基準を設けているので、安心できるということをもっとわかりやすくアピールしてもよいのではないか。

事務局　安心してもらえる情報提供ができるよう、配布プリントにて文字の大きさを工夫するなどのアピール方法を検討したい。

要望２　9月14日の第六小学校訪問時、栄養士の話を校内で動画配信したとのことだが、内容を教えていただきたい。

事務局　当日は話している様子をライブ配信したためデータが残っているかどうかわからないが、残っていれば見ることは可能なので第六小学校に確認する。

質問１　7月28日と30日に行われた「(仮称）国立市立学校給食センター」食育ビジョン（素案）市民意見交換会では、どのような意見があったのか。

回答１　SDGｓとの関連性など様々な意見があった。近日中に国立市役所のＨＰに意見内容・回答を掲載する予定。

質問２　9月14日に第六小学校にて栄養士講話を行ったとのことだが、計画を立てて全ての学校に訪問するようにしているのか。

回答２　訪問しての講話は各学校からの要望で実施することになっており、第六小学校は昨年度に引き続き要望があったため訪問した。給食センターとしては、ぜひ他の学校にも要望してもらって、訪問の機会を増やしたいと考えている。

議題（２）学校給食費収支状況について

▶令和4年4月1日～令和4年8月31日までの学校給食費の収支状況を報告

［資料２］令和4年度学校給食費収支状況（令和4年4月1日～8月31日）より(一部抜粋)

収入　（単位：円）

区分		調定額	不能欠損額	収入額	未収入額	摘要
給食費		100,914,224	0	90,014,398	10,899,826	89.20%
	現年度給食費	92,496,803	0	89,894,922	2,601,881	97.19%
	過年度給食費	8,417,421	0	119,476	8,297,945	1.42%
前年度繰越金		4,776,793	0	4,776,793	0	
雑入		21,764	0	21,764	0	廃油売却収入 等
補助金		10,768,000		10,768,000		学校給食費物価高騰対応補助金
合計		116,480,781	0	105,580,955	10,899,826	

支出　（単位：円）

区分	支出額	摘要
主食購入代	10,973,468	内訳は資料２参照※
副食購入代	55,093,040	〃
牛乳購入代	17,796,413	〃
調味料購入代	3,138,765	〃
合計	87,001,686	

合計　（単位：円）

収入合計	105,580,955
支出合計	87,001,686
差引残額	18,579,269

※資料２は国立市ホームページ令和4年度市立学校給食センター運営審議会／国立市ホームページ(city.kunitachi.tokyo.jp)または当たより1ページ掲載のQRコードより確認できます。

▶会計監査報告

・9月15日（木）10:00より第一給食センター会議室において監査実施。

・令和4年4月1日から8月31日までの学校給食費の収支書類と証拠書類を監査し、帳簿および預金通帳等を照合した結果、適正に処理されていることを認める。

【委員からの主な質問や意見】

質問１　給食費の収納率を100%に近づけるためにはどんなことが考えられるか。

回答１　収納率は令和2年、令和3年と続けて過去10年間の収納率を上回る成果を上げている。現時点では、未収納家庭に対して直接の訪問や、督促状の紙の色を変更する、督促状の表題を「特別警告」とするといった工夫を実施しており、今後はそれに加え、督促状の発出を早めに行うなどの対策を継続して行っていくことで収納率向上につなげる考え。

質問２　未収入家庭について法的措置をとっている自治体もあるが、国立市ではそういった対応についての考えはあるか。

回答２　現状、学校給食費は私費会計のため、未収納家庭に対し法的措置を取ることが難しい。可能にするには、公会計化するなどの段階を踏む必要があるため実現には時間を要する。

質問３　昨今の食材費高騰などが原因で23区は給食費を上げると報道されている。国立市は去年給食費を上げたばかりだが、支出を減らしていくことに関して考えはあるか。

回答３　質を落とす、量を減らす、といったことは考えていない。現時点では国からの補助金で補正予算を組むなど、保護者の負担を増やさずに対応することが可能な状況。

質問４　国の補助金の限度や、食材のますますの高騰などによっては再度給食費の値上げを検討する必要もあるのではないか。その場合の発案と実行のタイミングを教えてほしい。

回答４　令和2年度に給食費を値上げした際の発案は令和元年中に行われた。発案翌年度から1年かけて審議委員会（※当委員会）にて検討を行い、その翌年度からの値上げとなる。

質問５　令和4年11月から牛乳の値上げが決定されているが、給食の牛乳も同様か。

回答５　従前より、令和5年度から牛乳の値上げを行うという打診は受けている。生産者の事情も汲みつつ、子どもたちが東毛酪農の牛乳を飲み続けられるように対応していく。

議題（３）その他

▶事務局より

令和5年1月26日(木)に予定している視察研修について、次回の審議会で視察先など検討する。委員の中で思い当たる自治体や、視察してみたい自治体があれば連絡をいただきたい。

【委員からの主な質問や意見】

質問１　長期休業後の給食開始日が学校ごとに違うが、その理由を教えてほしい。また、献立表に記載されている学校ごとの開始日をもう少しわかりやすく記載してほしい。

回答１　献立表への記載については改善する。給食提供の『基準日数』は国立市内の全校一律で決まっているが、各学校で行事などによって給食提供のスケジュールが異なるため、長期休業後の給食開始日を各学校の判断で調整することで基準日数に合わせている。

要望　小学１年生について入学後の給食開始日が遅いように感じる。開始日を早めてほしい。

事務局　１年生の基準日数は他学年と比べて少ないため、開始日が遅くなっている。基準日数の増減は、各学校のPTAや校長会から要望書の提出があれば検討を開始できる。

山上会長（第一中学校校長）

当審議委員会で新一年生の給食提供開始日について要望があったことを校長会で報告する。